



キャリアアドバイザーに聞いた!

転職サクセス へ田道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"
vol.21

「人間関係が原因で退職。面接で正直に言つてOK?」

面接で定番の質問のひとつが「前の会社を辞めた理由は?」どう答えればよいのか迷ったという声もよく聞きます。例えば人間関係が原因だった場合、正直に答えてよいのでしょうか。

ネガティブな人と 判断されないように注意して

面接で退職理由を聞かれた時に注意しなければいけないのは、ネガティブな印象を与えないこと。特に以前の職場を悪く言うと、人間性に関してマイナスの評価をされたり、「この人はうちの会社を辞めた後、次の会社で今と同じようなことを言うのではないか」と警戒心を抱かせかねません。本音がどうあれ、前向きな言葉に置き換えましょう。

どんな理由でも 「前向き」「ポジティブ」に 置き換えることができるはず!

かつた」ことが問題だったならば「みんなで協力し合い、チームで同じ目的に向かう仕事をしたかった」と言いかえてみてはいかがでしょうか。「ただ言われたことをやるだけではまらなかつた」なら「もつと責任や裁量のある仕事に挑戦したい」との言い換えが可能。なんとでもプラスに置き換えられるはずです。

かつた」ことが問題だったならば「みんなで協力し合い、チームで同じ目的に向かう仕事をしたかった」と言いかえてみてはいかがですか。「ただ言われたことをやるだけではまらなかつた」なら「もつと責任や裁量のある仕事に挑戦したい」との言い換えが可能。なんとでもプラスに置き換えられるはずです。

いて、一度問い合わせるとよいかかもしれません。人生の時間には限りがあります。「○○さん」「こう言われた、こうされた」と嘆き、イヤな相手のために貴重な時間を使うよりも、もっと自分の興味のあること、したいことに時間を

使ったほうが有意義です。心のあり方が変われば、職場も人生もさまざまなものが変わりますよ!ただし、パワハラやセクハラ、モラハラといった問題になれば話は別です。そのような場合は、しかるべき機関に相談しましょう。

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネススクール東京・札幌の上席講師として年200回以上の授業に登壇。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ 代表取締役。

人間関係の問題と言つても、実際の状況は千差万別。具体的にどんなところが問題だったかをまず振り返つてみてください。その上で例えば「上司と密に連携を取り、個人プレーしかできない

人間関係で悩むなら
心のあり方を見直してみることも大切です

ところでも人間関係のつまづきで悩む人は、自分の心のあり方につけ

